

印字サンプル

タイムカードには以下の様に印字されます。
 1日目の最終打刻が翌日になってしまいました。
 この場合、<徹夜ボタン>を押してから打刻することで、徹夜を示す“テ”のコメントを付けて出勤と同じ段に印字することができます。

カード番号					
023					
1欄	2欄	3欄	4欄	5欄	6欄
- 12:52	- 17:03	- 17:58	- 21:02	- 21:27	~ 0:23 テ
~ 12:55	~ 17:06				
∞ 08:54	∞ 12:02	∞ 12:57	∞ 15:00	∞ 15:14	∞ 18:08

徹夜打刻

CSV形式データサンプル

タイムレコーダから出力した打刻データは、USBメモリのルートフォルダ内に以下のファイル名称で保存されます。

PDF 001 00 .CSV
 i ii iii iv

- i 本製品で出力したファイルであることを示す
- ii 設定されている端末No.
- iii USBメモリに保存されているファイルの連番
- iv CSV形式のファイルであることを示す拡張子(設定により表示されないこともある)

上記印字サンプルの打刻データをUSBメモリに出力し、テキストエディタで開いてみました。
 1行目はデータヘッダです。
 カンマで区切られた項目内容は以下の通りです。

Q092X, 001, 00:00, 15/10/20, 10:08
 I II III IV V

- I 本製品の識別番号
- II 設定されている端末No.
- III 設定されている印字段切換時刻
- IV 打刻データを出力した年月日
- V 打刻データを出力した時刻

2行目以降は打刻データです。1人1日分の打刻データが1行にまとめられています。
 カンマで区切られた項目内容は以下の通りです。

001, 023, 15/10/03, 08:54, 0, 12:02, 0, 12:57, 0, 15:00, 0, 15:14, 0, 18:08, 0
 001, 023, 15/10/02, 12:55, 0, 17:06, 0,
 001, 023, 15/10/01, 12:52, 0, 17:03, 0, 17:58, 0, 21:02, 0, 21:27, 0, 00:23, 1
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

徹夜打刻

- ① 設定されている端末No.
- ② 打刻したタイムカードのカード番号
- ③ 打刻した年月日
- ④ 1欄目に打刻した時の時刻
- ⑤ 1欄目に打刻した時の経過日数 “0”は当日を示す(以下同じ)
- ⑥ 2欄目に打刻した時の時刻
- ⑦ 2欄目に打刻した時の経過日数
- ⑧ 3欄目に打刻した時の時刻
- ⑨ 3欄目に打刻した時の経過日数
- ⑩ 4欄目に打刻した時の時刻
- ⑪ 4欄目に打刻した時の経過日数
- ⑫ 5欄目に打刻した時の時刻
- ⑬ 5欄目に打刻した時の経過日数
- ⑭ 6欄目に打刻した時の時刻
- ⑮ 6欄目に打刻した時の経過日数 “1”は翌日になってからの徹夜打刻を示す

打刻データは <端末No.(昇順)> <カード番号(昇順)> <打刻した年月日(降順)> の順でソートされています。

パソコン画面サンプル

上記打刻データのCSVファイルを表計算ソフトで開くと以下の様になります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	Q092X	1	0:00	2015/10/20	10:08										
2	1	23	2015/10/3	8:54	0	12:02	0	12:57	0	15:00	0	15:14	0	18:08	0
3	1	23	2015/10/2	12:55	0	17:06	0								
4	1	23	2015/10/1	12:52	0	17:03	0	17:58	0	21:02	0	21:27	0	0:23	1
5	I / ①	II / ②	III / ③	IV / ④	V / ⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

徹夜打刻